

国際医療福祉大学大学院

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF
HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

GUIDEBOOK

医学研究科

博士課程 医学専攻 (4年間)
IUHW GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE

専門職学位課程 公衆衛生学専攻 (2年間)
IUHW GRADUATE SCHOOL OF PUBLIC HEALTH



成田キャンパス (千葉県成田市)



東京赤坂キャンパス (東京都港区)



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学



国際医療福祉大学大学院長・
医学研究科長

矢富 裕 (やとみ ゆたか)

東京大学医学部卒業。医学博士。
東京大学大学院医学系研究科教授、
医学系研究科副研究科長・医学部副
学部長、東京大学総長補佐・教育研究
評議員、東京大学医学部附属病院副
病院長等を経て2023年4月より現職。
日本内科学会、日本臨床検査医学会、
日本医療機器学会、日本検査血液学
会の理事長を歴任。東京大学名誉教授。

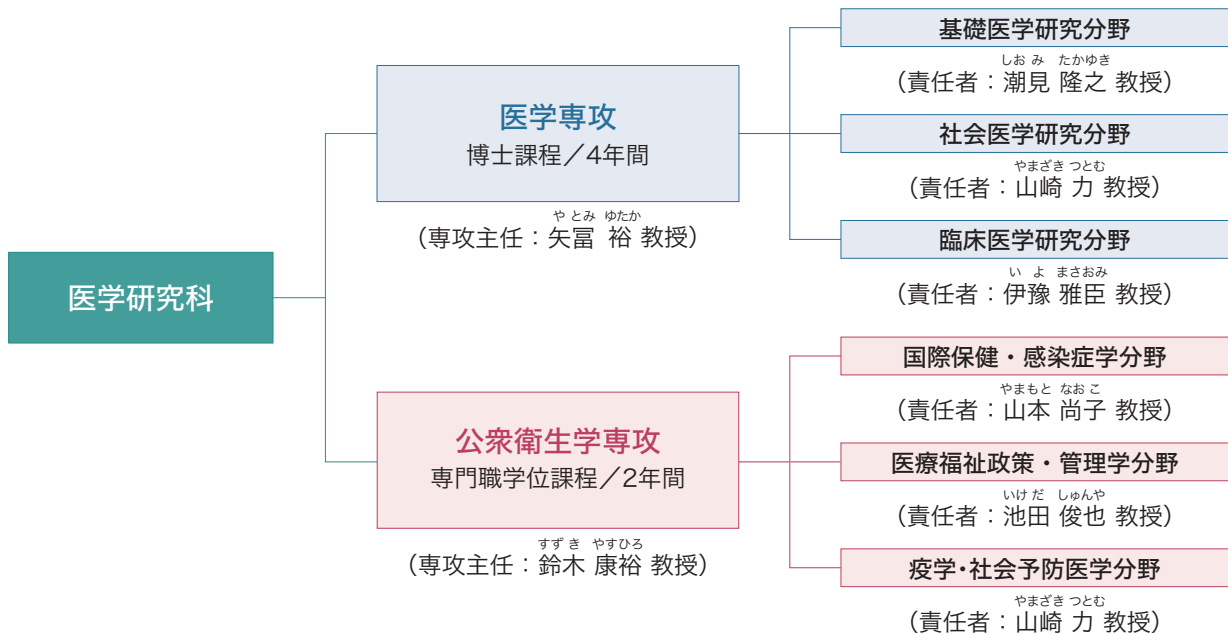
ごあいさつ

国際医療福祉大学大学院は、保健・医療・福祉の分野において指導的役割を果たす高度な専門職の育成を目的として、1999年に開設されました。医学研究科は2018年に開設され、医学部と連携しながら、保健・医療・福祉の向上に貢献できる優れた人材の育成を目指しています。2024年には、公衆衛生学専攻（専門職学位課程）を新たに開設しましたが、この課程では、国内外で大きく変化する公衆衛生・医療福祉の未来を担う人材を育成するため、実践的で高度な専門能力を備えた人材の養成を図っています。現在、医学専攻（博士課程）および公衆衛生学専攻（専門職学位課程）にあわせて約160名の大学院生が在籍し、日々研究に励んでいます。

本学大学院では、深い学識と理論・応用の両面にわたる学術の探求を重視するとともに、社会人学生にとっても学びやすい研究環境の整備に努めています。ICTの活用をはじめとした利便性の高い教育内容を提供しており、医学研究科においても、これらの特長を生かしながら、国際的な医療交流の拠点として機能するための教育・研究環境のさらなる充実を図っています。

皆様のご入学を、心よりお待ちしております。

国際医療福祉大学大学院医学研究科組織図



医学専攻 博士課程／4年間

学生納付金								(単位：円)
専攻	納入方法		入学金	授業料	施設整備費	分割納入額	初年度合計	4年間合計
博士課程 医学専攻	一括	入学手続き時	200,000	600,000	100,000		900,000	3,000,000
		入学後(9月)						
	分割	入学手続き時	200,000	300,000	50,000	550,000		
		入学後(9月)		300,000	50,000	350,000		

公衆衛生学専攻 専門職学位課程／2年間

学生納付金								(単位：円)
専攻	納入方法		入学金	授業料	施設整備費	分割納入額	初年度合計	2年間合計
専門職学位課程 公衆衛生学専攻	一括	入学手続き時	200,000	600,000	100,000		900,000	1,600,000
		入学後(9月)						
	分割	入学手続き時	200,000	300,000	50,000	550,000		
		入学後(9月)		300,000	50,000	350,000		

キャンパス所在地



成田キャンパス

〒286-8686
千葉県成田市公津の杜 4-3
京成本線「公津の杜」駅前
(徒歩 1 分)



東京赤坂キャンパス

〒107-8402
東京都港区赤坂 4-1-26
東京メトロ「赤坂見附」駅
A 出口より徒歩 3 分

研究を支える附属病院と関連施設（臨床医学研究センター）

附属病院



国際医療福祉大学三田病院
(291 床・東京都港区)



国際医療福祉大学成田病院 (642 床・千葉県成田市)

2020 年春に開設した国際医療福祉大学成田病院は、成田キャンパスや成田国際空港にも近く、「予防医学センター」「国際臨床感染症センター」「がん放射線治療センター」「国際遠隔診断センター」「遺伝子診断センター」など先進医療を牽引する特長的なセンターを設置しています。トップクラスの実績を持つ医師と最新鋭の高度医療機器を配し、地域医療への貢献とアジアを代表する国際的な病院をめざします。



国際医療福祉大学病院
(408 床・栃木県那須塩原市)



国際医療福祉大学塩谷病院
(240 床・栃木県矢板市)

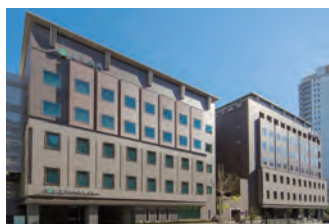


国際医療福祉大学市川病院
(260 床・千葉県市川市)



国際医療福祉大学熱海病院
(269 床・静岡県熱海市)

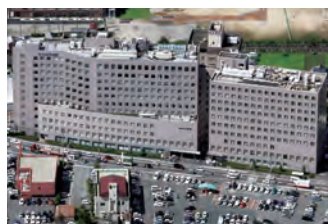
臨床医学研究センター



山王病院 (78 床)
山王バースセンター (19 床)
(東京都港区)



福岡山王病院
(199 床・福岡県福岡市)



高木病院
(506 床・福岡県大川市)



柳川リハビリテーション病院
(240 床・福岡県柳川市)

※臨床医学研究センターとは、本学の教育・研究・人事面において全面的に協力するという位置づけの関連医療福祉施設です。

基礎医学・社会医学を志望する医師に対する奨学生制度について

基礎医学・社会医学を志望する医師（歯科医師、獣医師を除く）を対象に、授業料の 50%相当額の奨学金を給付します。ただし、奨学金は各年度の授業料に振り替えます。

※日本の医師免許保有者に限らず外国の医師免許保有者を含みます。※私費外国人留学生授業料減免制度と本制度の併用はできません。

【対象とする分野】 博士課程・・・基礎医学研究分野、社会医学研究分野

専門職学位課程・・・国際保健・感染症学分野、医療福祉政策・管理学分野、疫学・社会医学分野

私費外国人留学生への授業料減免制度について

入学までに「留学」の在留資格が取得可能な私費外国人留学生で、経済的理由により学生納付金の納入が困難と認められる者は、授業料減免制度（授業料を 30%免除）の適用を受けることができます。授業料減免制度の適用条件については学生募集要項をご確認ください。

医学専攻（博士課程）

概要

■ 専攻種別 医学専攻（博士課程／4年間）
入学定員 20 名

■ 取得学位 博士（医学）
(Doctor of Philosophy (PhD) in Medical Science)

■ 開設地 ・ 成田キャンパス（千葉県成田市）
・ 東京赤坂キャンパス（東京都港区）
・ 大田原キャンパス（栃木県大田原市）
・ 小田原キャンパス（神奈川県小田原市）
・ 熱海キャンパス（静岡県熱海市）
・ 福岡キャンパス（福岡県福岡市）
・ 大川キャンパス（福岡県大川市）

専攻主任ごあいさつ



矢富 裕（やとみ ゆたか）

東京大学医学部卒業。医学博士。
東京大学大学院医学系研究科教授、
医学系研究科副研究科長・
医学部副学部長、東京大学総長
補佐・教育研究評議員、東京大
学医学部附属病院副院長等を
経て2023年4月より現職。
日本内科学会、日本臨床検査医
学会、日本医療機器学会、日本
検査血液学会の理事長を歴任。
東京大学名誉教授。

医学専攻（博士課程）は、医学部と連携し
つつ、国際的な知の交流拠点をめざして活
々な教育・研究活動を展開しています。最先端の
医学研究の推進を目指す研究者、国際的に活
躍する研究者、そして専門医や行政官など高
度な専門職業人を目指して博士号の取得を志
す方々を募集しています。

入学にあたっては、事前に指導教員と相談の
うえ、希望する研究テーマを決定いただき、
入学後は、基礎医学研究分野、社会医学研究
分野、臨床医学研究分野のいずれかに所属し、
研究を進めていただきます。

本専攻では、研究を通じて真に科学的な思
考力を身につけ、複雑な課題の解決に組み
込み、国際社会で活躍できる医療人を育成す
ることを目指しています。多くの方々のご入学
をお待ちしています。

受験資格

修士の学位を取得した方（取得見込みを含む）、
または6年制の課程（医学、歯学、獣医学、薬学）を卒業した方（卒業見込みを含む）。
（詳しくは募集要項をご覧ください）

修了要件

修了要件：30単位以上の修得と博士論文の作成

① 必修科目（専門科目20単位）

「研究倫理特論（2単位）」、「医学研究特論（2単位）」、「医学特別研究Ⅰ～Ⅳ（計16単位）」

② 選択科目（10単位以上）

「（領域別）特論Ⅰ～Ⅳ（計10単位）」

特長とカリキュラム

3つの主要分野 — 国際的に活躍しうる研究者を育成する

〈基礎医学研究分野〉

海外経験、臨床経験も有する教員体制で、国際的な研究者を養成し、診療現場の疑問を科学的に解決する「トランスレーショナル・リサーチ」からその基盤となる生命現象・疾患を解き明かす基礎医学研究まで幅広い研究テーマの選択が可能です。

〈社会医学研究分野〉

国際社会・地域社会の健康増進、保健福祉の向上、医学教育の発展などに貢献できる研究者を養成します。また、予防医学や公衆衛生学の視点で、統計学や医療情報学などの手法を修得することをめざします。

〈臨床医学研究分野〉

細胞生物学、分子生物学などの新知見や、遺伝細胞工学、再生医療などの新技術を取り入れた先進的臨床研究ができる専門家を養成し、国内外の臨床研究の発展に貢献します。

○ 開講科目

区 分	科目名	区 分	科目名	区 分	科目名
必修科目	研究倫理特論 医学研究特論 研究実施や論文作成にあたっての研究の基盤となる技能習得や分野横断型の多様な研究に関する内容を提供 ・学術論文収集・作成法 ・生物統計演習 ・研究発表技法 ・研究語学演習 ・医学研究概論	分野系 選択科目 (臨床医学 研究分野)	呼吸器内科学特論 呼吸器外科学特論 循環器内科学特論 心臓外科学特論 血管外科学特論 消化器内科学特論 消化器外科学特論 腎臓内科学特論 泌尿器科学特論 糖尿病・代謝・内分泌学特論 産婦人科学特論 乳腺外科学特論 小児科学特論 小児外科学特論 整形外科学特論 皮膚科学特論 リウマチ・膠原病学特論 形成外科学特論 リハビリテーション医学特論 神経内科学特論 精神科学特論 脳神経外科学特論 眼科学特論 耳鼻咽喉科学特論	分野系 選択科目 (臨床医学 研究分野)	血液内科学特論 臨床腫瘍学特論 総合診療学特論 心療内科学特論 老年病学特論 麻酔科学特論 救急医学特論 放射線科学特論 臨床検査医学特論
	医学特別研究 各分野での研究テーマに沿って研究を実践し、博士論文を作成				
	分野系 選択科目 (基礎医学 研究分野)				
分野系 選択科目 (基礎医学 研究分野)	生理学特論、生化学特論 薬理学特論、免疫学特論 分子生物学特論、解剖学特論 病理学特論、遺伝医学特論				
分野系 選択科目 (社会医学 研究分野)	法医学特論、感染症学特論 公衆衛生学特論 医学教育学特論				

○ 各分野責任者のご紹介



基礎医学研究分野
潮見 隆之 教授

慶應義塾大学医学部卒業。

医学博士。前ニューヨーク大学 Research Scientist。成田キャンパス基礎医学研究センター長兼任。

病理診断学の基盤となっている、各種疾患における形態学的変化を引き起こすメカニズムとしての細胞間コミュニケーションおよび細胞・細胞外基質間のクロストークを研究。



臨床医学研究分野
伊豫 雅臣 教授

千葉大学医学部卒業。

医学博士。千葉大学名誉教授。前千葉大学社会精神医学教育研究センター長、前千葉大学医学研究院精神医学教授、前千葉大学医学部附属病院精神神経科長・こどものこころ診療部長。前日本脳科学会理事長、前日本精神科救急学会副理事長。現在、副大学院長、精神医療統括教授。

専門は精神医学（精神薬理学、認知行動療法、司法精神医学、社会精神医学、スポーツ精神医学など）。



社会医学研究分野
山崎 力 教授

東京大学医学部卒業。

医学博士。前東京大学医学部附属病院臨床研究支援センター長・検診部部長。

循環器分子生物学、臨床疫学、ゲノム疫学を中心に長らく研究に携わった経験から多様な見地で社会医学研究分野を指導。

○ 修了生のメッセージ



頓所 つく実 さん

医学専攻（博士課程） 社会医学研究分野 公衆衛生学領域 2021 年度修了

作業療法士としての急性期病院勤務経験から、治療やリハビリに加え、疾患・障害の予防の重要性を強く感じてきました。そのような中で公衆衛生学、特に産業衛生学に関心を持ち進学を決めました。本学の魅力は、まず先生方のきめ細かい指導です。指導教員の個別ゼミや公衆衛生学合同ゼミでは、研究発表、論文作成、査読を受けての論文修正含め、先生方や院生仲間から多くご指導・ご助言をいただく機会がありました。また、講義では英語プレゼン演習や学術論文収集・作成法等、単に“学位取得”だけではなく、将来を見据えた内容を学ぶことができました。e ラーニングで、場所・時間を選ばずに受講できたことも大変便利でした。

現在、私は労働者の健康増進や疾患・障害の予防をめざした疫学研究、職場環境の改善を目指した介入研究に取り組んでいます。予定通りに進まず大変なことは多いですが、現在も研究を行っているのは指導教員の先生・他先生方のご指導、研究参加者の皆様や院生仲間のご協力のおかげです。

公衆衛生学専攻（専門職学位課程）

概要

- **専攻種別** 公衆衛生学専攻
（専門職学位課程／2年間）
入学定員 20 名
- **取得学位** 公衆衛生学修士（専門職）
（Master of Public Health）
- **開設地** ・ 成田キャンパス（千葉県成田市）
・ 東京赤坂キャンパス（東京都港区）

専攻主任ごあいさつ



鈴木 康裕（すずき やすひろ）

慶應義塾大学医学部卒業。医学博士。
米国ハーバード大学大学院公衆衛生
研究科で2つの修士号 (Master of
Public Health, Master of Science)
を取得。WHO (世界保健機関) 局長
(ナンバー2)、厚生労働省医務技監を
歴任。2021 年 1 月より国際医療福祉
大学大学院教授を務め、同年 3 月より
副学長に就任。2022 年 4 月より学長。
同年 12 月 WHO 執行理事に就任。

2024 年度より専門職学位課程となり、
3 分野からなる総合的な公衆衛生専門職大
学院として幅広い教育を展開しています。

社会人の方が働きながら学べるカリキュ
ラム構成で、1 年次には基本 5 科目を体系的
に学び、その後、各分野で専門的な教育・
指導を受けます。

東京赤坂キャンパスには医療経済研究や
臨床疫学研究、予防医学、医療ビッグデー
タの解析など幅広い専門性を持つ教授陣が
揃っています。

また成田キャンパスでは経験豊富な教授
の指導により、国際保健に関する諸外国との
共同研究なども可能な環境が整っています。

いずれも本学グループの多様な医療機関・
施設の活用による充実の教育管理体制で、
実践的な公衆衛生学教育を行います。

受験資格

4 年制大学を卒業（卒業見込みを含む）、ならびに入学時点で 22 歳以上であり本大学院による出願資格審査において 4 年制大学を卒業と同等以上と認められた方。（詳しくは募集要項をご覧ください）

特長とカリキュラム

- 国際性を備えた指導的立場に立つ高度な専門職業人の養成
- 3 分野からなる総合的な公衆衛生専門職大学院として幅広い教育の実施
- 医学・公衆衛生学における多数の専門家と、本大学グループの多様な医療機関・施設の活用による充実した教育管理体制
- 英語と日本語のバイリンガルによる大学院教育
- 医師のみならず医療分野・公衆衛生学分野の幅広い人材への公衆衛生教育を実現し、社会人学生にも対応した教育環境の提供

3 つの分野

① 国際保健・感染症学分野

国際的な健康課題に対して公衆衛生の各種手法を活用し解決のための提案及び企画・実施・評価をします。また論文や報告書、政策提言として社会に発表できる人材を育成します。さらに、様々なステークホルダーとの協働やそれらの調整を行うことができるコミュニケーション能力やコーディネーション能力を有する人材を養成します。

② 医療福祉政策・管理学分野

医療・福祉政策に幅広い知見を持ち、政策の現状と課題を理解しながら解決策を打ち出せる人材を育成します。また、日々専門化・複雑化が進む医療福祉の分野で、データを収集・解析し、個々の医療福祉専門領域にフィードバックできる人材またこれらのストラテジーを立案できる人材を育成します。

③ 疫学・社会予防医学分野

臨床試験に不可欠な統計学、医学研究のデザイン等に役立つ疫学、薬剤疫学など、医療全般でのデータ解析・評価ができる専門家を育成します。また、母子保健、老人保健、産業衛生、予防医学など医学・公衆衛生上の諸問題に適切に対処し、課題を解決できる人材を育成します。

5 つの基本専門領域

- 疫学
(epidemiology)
- 生物統計学
(biostatistics)
- 環境健康科学
(environmental health sciences)
- 社会行動科学
(social behavioral sciences)
- 健康政策管理学
(health services administration)

基本の5科目 〈公衆衛生学の基本5科目を網羅する〉

生物統計学概論	疫学概論	環境・産業保健学概論	医療福祉政策・管理学概論	社会行動科学概論
---------	------	------------	--------------	----------

8つのコア・コンピテンシー 〈8つのコア・コンピテンシーの修得を実現する〉

1. Evidence-based Approaches to Public Health (公衆衛生へのエビデンスに基づくアプローチ)	5. Leadership (リーダーシップ)
2. Public Health & Health Care Systems (公衆衛生と医療制度)	6. Communication (コミュニケーション)
3. Planning & Management to Promote Health (健康増進のための計画とマネジメント)	7. Inter-professional Practice (多職種連携)
4. Policy in Public Health (公衆衛生政策)	8. Systems Thinking (システム思考)

必修科目と修了要件

コース	出身学部	基本の5科目 研究倫理特論	公衆衛生政策論	選択必修科目	医学概論	課題研究	修了に必要な 単位数
課題研究コース	医学系学部	必修	必修	1科目のみ必修 他の科目は選択	選択	8単位	30単位以上
	それ以外	必修	必修	1科目のみ必修 他の科目は選択	必修	8単位	

各分野責任者のご紹介



国際保健・
感染症学分野
山本 尚子 教授

札幌医科大学医学部卒業。
医学博士。米国ジョーンズ・ホプキンス大学公衆衛生大学院 MPH 取得。厚生労働省大臣官房総括審議官、WHO（世界保健機関）事務局長補等を歴任。
国内外での公衆衛生、衛生行政の豊富な経験をもとに国際的な健康課題に対して多様な手段でアプローチする。内閣府および厚生労働省参与。



医療福祉政策・
管理学分野
池田 俊也 教授

慶應義塾大学医学部卒業。
医学博士。ハーバード大学公衆衛生大学院修了。元ペンシルベニア大学 経営大学院 訪問研究員。日本医療・病院管理学会および医療経済学会理事。
政府の中央社会保険医療協議会、厚生科学審議会等で委員を歴任し、医療政策、医療経済、データ解析等について豊富な知見。



疫学・
社会予防医学分野
山崎 力 教授

東京大学医学部卒業。
医学博士。前東京大学医学部附属病院臨床研究支援センター長・検診部部長。
本学附属成田病院で初代予防医学センター長等を歴任した経験から、予防医学に関するデータ分析や研究方法に精通。

在学生のメッセージ



清水 裕子 さん

公衆衛生学専攻（専門職学位課程） 国際保健・感染症学分野 2024 年度入学

「2024 年公衆衛生専門職大学院開設」この情報を目にした時、私は「第一期生になりたい」そう強く思いました。

医学、国際保健や感染症、医療福祉政策・管理学、医療経済学、ビッグデータ解析や地域医療分析、さらに疫学や統計学、臨床研究、社会予防医学等、密接に関わり合うこれらの領域における専門性や豊富な実務経験・実績を有し、国内外に幅広い人脈やネットワークを持つ素晴らしい教員のご指導の下で、私たちは授業やゼミ、課題研究、研鑽に励む日々を送っています。

COVID-19 の流行は世界中の人々の生命や健康を脅かし、私たちの生活を一変させたと同時に、公衆衛生に係る課題・問題が顕在化し、私自身はこの教訓を必ず今後に生かさなければならないと思いました。或いは日々の業務や生活の中で直面している健康課題を解決したいと考えている大学院生もいるでしょう。IUHW（国際医療福祉大学）の SPH——情熱溢れる教員に Supportive な職員さん、多数の関連施設、赤坂という立地、多様なバックグラウンドの高め合える同志——実践を学び、実務能力を獲得すべく求める者にとって、ここには贅沢なほどに最高の環境が全て揃っています。

